

令和8年4月28日
環境管理課
土壌・水環境グループ
担当 宮本・多田
ダイヤル 087-832-3218
(内線 2958)

令和8年度広域総合水質調査(瀬戸内海)を実施します

この調査は、瀬戸内海の水質の実態を毎年、同時期・同一地点で統一的手法で調査することにより、総合的な水質汚濁防止対策の効果을把握し、また水質汚濁メカニズムの解明に必要な基礎データをを得ることを目的としています。本県を含め瀬戸内海沿岸11府県が環境省の委託を受け、昭和47年度から実施しており、今年度は春夏秋冬の年4回、昨年度と同じ地点で行います。

当日は、調査員7名が県の調査船「ごしき」と「やくり」に乗船し、海面から0.5メートル以内の表層水と海底から1メートルの底層水を各地点で採水するとともに、透明度や水温の測定などを行います。

なお、採取した海水は、水質汚濁の指標となるCOD(化学的酸素要求量)や赤潮の発生に影響するりん、窒素の含有量など17項目について、県環境保健研究センター等で詳しく分析し、本年度内に調査結果をまとめて環境省に報告します。

1 調査実施機関

環境省の委託を受けて、本県を含め瀬戸内海沿岸11府県が同時期に実施します。

2 調査実施日

第1回(春) 令和8年 5月12日(火)

第2回(夏) 令和8年 7月 7日(火)

第3回(秋) 令和8年10月 6日(火)

第4回(冬) 令和9年 1月18日(月)

※ 第1回調査日(5月12日)の16時頃、採水風景の写真を提供します。

3 調査地点及び要領

(1) 調査地点(海域)・・・別図参照

調査項目	香川県	瀬戸内海全域
水質	10地点	124地点
植物プランクトン	4地点	44地点
底質及び底生生物	2地点	17地点

(2) 調査項目

- ①水温 ②塩分 ③色相 ④透明度 ⑤pH(水素イオン濃度) ⑥DO(溶存酸素量)
- ⑦クロロフィルa ⑧COD(化学的酸素要求量) ⑨全りん ⑩全窒素 ⑪アンモニア性窒素
- ⑫亜硝酸性窒素 ⑬硝酸性窒素 ⑭りん酸態りん ⑮イオン状シリカ ⑯植物プランクトン
- ⑰底質及び底生生物

(3) 調査船等

- ①「やくり」(水産課調査船 19トン)

調査海域・・・東讃海域

調査員 3名 乗務員 3名

出港・・・・・・東浜係留所

- ②「ごしき」(水産課調査船 9.1トン)

調査海域・・・備讃瀬戸及び燧灘東部

調査員 4名 乗務員 2名

出港・・・・・・東浜係留所

(4) 分析機関

水質・・・・・・・・・・香川県環境保健研究センター

植物プランクトン・・・民間分析機関

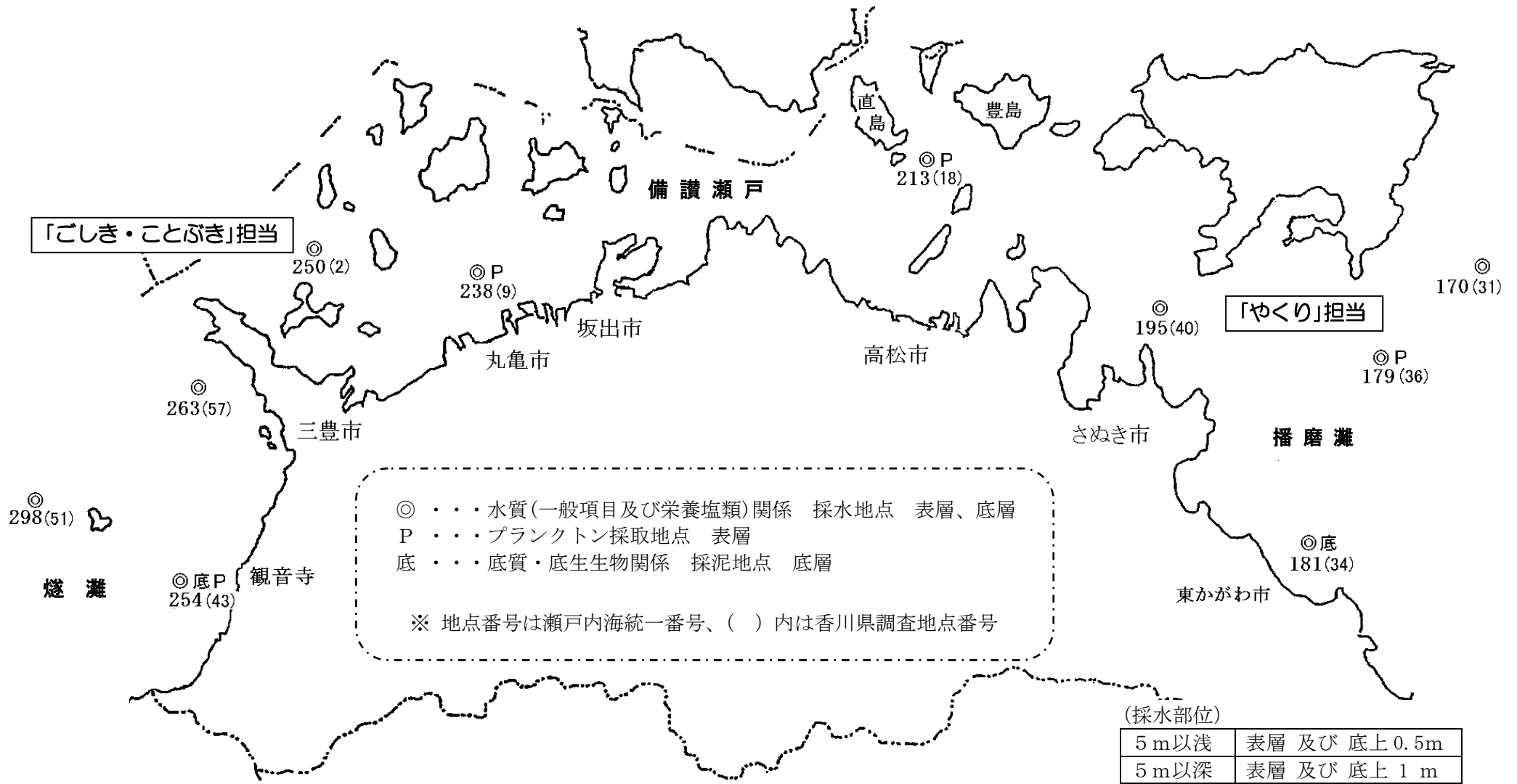
底質及び底生生物・・・民間分析機関

[参考]

- 調査開始時期 昭和47年度(春夏秋冬の年4回実施)
- 昭和48年度～昭和52年度(年1回実施)
- 昭和53年度～平成23年度(春夏秋冬の年4回実施)
- 平成24年度(夏冬の年2回実施)
- 平成25年度～(春夏秋冬の年4回実施)

広域総合水質調査（瀬戸内海）調査地点図

調査船 「やくり」（水産課調査船）
 「ごしき・ことぶき」（水産課調査船）



ただし、5 m以深において、底泥を巻込む等の事情により採水が困難な場合には適宜採取位置を変更するものとする。